案件１資料

平成 27 年 6 月 10 日（水）27 年度第 1 回会議資料
八戸地域畜産関連産業振興ビジョン検討会議

事業者アンケート結果について

1　アンケートのねらい

八戸地域内で養豚・養鶏を営む事業者より、現在の事業規模及び今後の事業見通し、資料用米の活用に対する意向を調査し、畜産ビジョンにおける飼養頭羽数等の目標設定・取組案作成のためのデータとする。

2　アンケート概要

（１）対象者；八戸地域内で養豚又は養鶏を営む者、又は主たる事業所を八戸地域内に置く養豚・養鶏事業者　86
（内訳；採卵鶏 13、ブロイラー44、豚 26、種鶏 3）

（２）調査方法；各市町村より、区域内の対象者あて、アンケートフォーム（無記名式）を郵送にて送付し、同封の返信用封筒による郵送又は電子メール（希望者のみ）にて回収

（３）調査期間；平成 27 年 3 月 16 日～同年 3 月 31 日

（４）回答数及び回答率；回答数　51（回答率 59.3%）

3　アンケートフォーム及びアンケート調査結果　　別添

○八戸地域畜産関連産業振興ビジョン事業者アンケート　記入用紙　No.1

該当する記号を○で囲み、表及び〔　〕内に具体的な内容を記入してください。
なお、可能な範囲内での回答で結構ですので、**期限内のご提出をお願いします。**
（平成２７年３月３１日（火）まで）

質問１．経営形態や農場規模などについてお伺いします。

①　経営形態
ア．株式会社・有限会社　　イ．㈱、㈲以外の法人（農事組合法人など）
ウ．個人事業主　　エ．その他〔具体的に：　　〕

②　主たる事務所の所在地（市町村名を記入してください。）
〔　　〕

③飼養している畜種、農場規模、飼養頭羽数等について

畜種（豚、採卵鶏ﾌﾞﾛｲﾗｰなど）	農場の所在地（市町村名）	農場の収容規模（羽、頭）	通常の飼養頭羽数	年間出荷数（頭、羽、kg）

※飼養しているものを全て記入してください。
※農場ごとに記入してください。
※一つの農場に複数の畜種を飼養している場合は、畜種ごとに記入してください。
※「出荷数」の単位は、豚・ﾌﾞﾛｲﾗｰは頭数又は羽数で、卵は kg で記入してください。
※「年間出荷数」は、直近１年間の出荷数を記入してください。

質問２．家畜排せつ物の管理及び処理についてお伺いします。

家畜を飼う方にとって、家畜排せつ物の処理は避けられない課題です。このことについて、下記の質問にお答えください。

①　ふん（固形物）の処理量及び処理方法について（豚、採卵鶏、ﾌﾞﾛｲﾗｰ）

処理方法	ふんの年間処理量（トン）			特記事項
	豚	採卵鶏	ﾌﾞﾛｲﾗｰ	
堆肥舎	t	t	t	
強制発酵施設	t	t	t	
乾燥施設	t	t	t	
焼却処理	t	t	t	
廃棄物処理業者委託	t	t	t	
その他（　　）	t	t	t	

※質問１の③でお答えいただいた畜種について、まとめて記入してください。
※トン未満の端数は、四捨五入してください。

No.2 に続きます

②　尿（液状）の処理量及び処理方法について（豚）

処理方法	尿の年間処理量（トン）	特記事項
貯留槽	t	
浄化処理	t	
液肥化施設	t	
その他（　　）	t	

※質問１の③でお答えいただいた分について、まとめて記入してください。
※トン未満の端数は、四捨五入してください。

③　堆肥の処理状況について
ア．全量処理できており、問題はない
イ．現在は全量処理できているが、今後余剰堆肥の処理が問題になると思われる
ウ．堆肥の流通が進まず、処理に苦慮している
エ．その他〔　　〕

質問３．10 年後（平成 36 年度）を見すえた今後の経営の見通しについてお伺いします。

ア．現状の事業規模を維持し、事業を継続する

イ．事業規模を拡大し、事業を継続する
↳以下の質問にもご回答ください。（Ａ、Ｂの複数回答可）
Ａ．自己の所有する土地で規模拡大が可能である
→拡大可能な規模：頭羽数〔　　〕頭・羽
拡大可能な面積〔約　　〕ha
拡大可能な場所（市町村名）〔　　〕
Ｂ．他に土地が確保できれば規模を拡大したい
→拡大を希望する規模：頭羽数〔　　〕頭・羽
拡大を希望する面積〔約　　〕ha
拡大を希望する場所（市町村名）〔　　〕

ウ．事業規模を縮小して、事業を継続する
↳以下の質問にもご回答ください。
→縮小が見込まれる規模：頭羽数〔　　〕頭・羽
→そのように考える理由（具体的に：　　）

エ．廃業する
↳以下の質問にもご回答ください。
→そのように考える理由（具体的に：　　）

No.3 に続きます

質問４．飼料用米の活用の意向についてお伺いします。

平成 20 年以降の飼料価格の高騰を契機に、自給飼料としての飼料用米が注目されています。このことについて、下記の質問にお答えください。

①トウモロコシなどの代替としての飼料用米の活用について

ア．興味があり、積極的に活用したい
イ．興味はあるが、現在の飼料コストの範囲内で活用したい
ウ．あまり活用したいとは思わない
エ．決められた飼料を使わなければならないため、答えられない
オ．その他

（具体的に：　　）

②　①のように考える理由

（　　）

質問５．その他（自由記述欄）

質問は以上です。八戸地域の畜産等に関するご意見などありましたら、下欄に自由にご記入ください。

（　　）

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

○八戸地域畜産関連産業振興ビジョン事業者アンケート結果まとめ

調査の概要

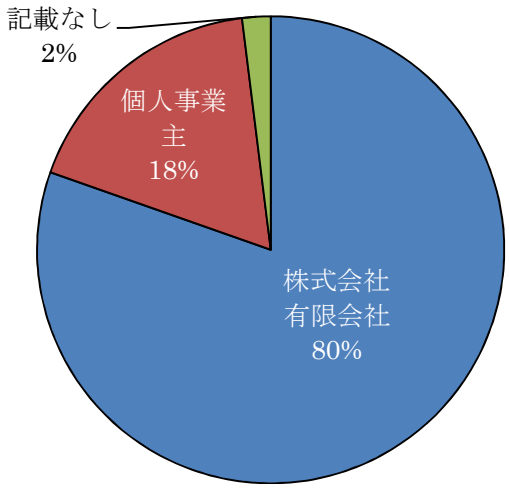
1．調査の目的…八戸圏域定住自立圏内における畜産業の現状及び将来像を把握する。
2．調 査 対 象…対象エリア内の鶏・豚飼養者。
3．調 査 期 間…平成 27 年 3 月 16 日～3 月 31 日
4．調 査 方 法…郵送でアンケートフォームを送付し、同封した返信用封筒又は電子メールにより回収。（無記名）
5．回　答　率…配布数 86 通、回答数 51 通、回答率は 59.3%である。

アンケート内容と結果

質問１．経営形態や農場規模などについて

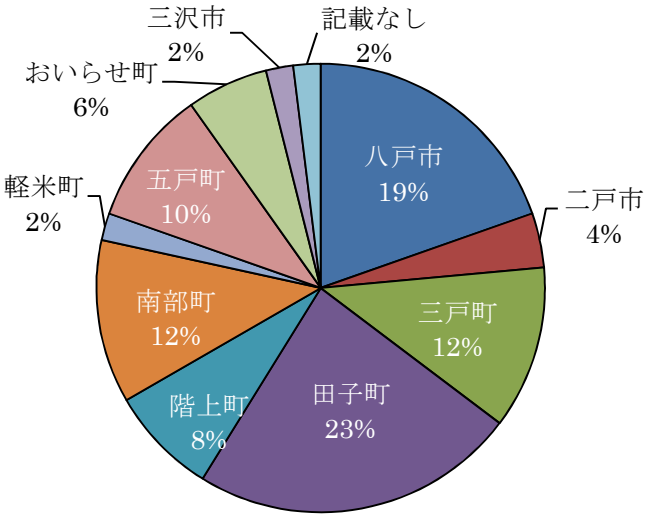
①経営形態

ア．株式会社・有限会社　41 件
イ．(株),(有)以外の法人(農事組合法人など)　0 件
ウ．個人事業主　9 件
エ．その他　0 件
記載なし　1 件



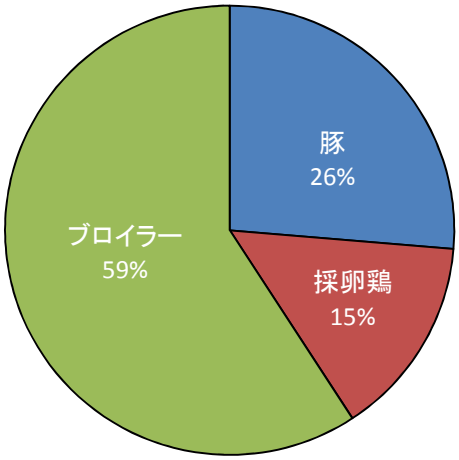
②主たる事務所の所在地

八戸市	10 件	二戸市	2 件
三戸町	6 件	田子町	12 件
階上町	4 件	南部町	6 件
軽米町	1 件	五戸町	5 件
おいらせ町	3 件	三沢市	1 件
無回答	1 件		



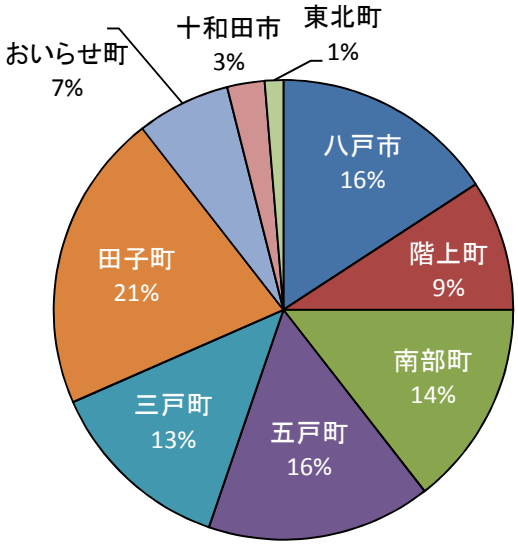
③ - 1 飼育している畜種(複数回答あり)

豚	20 件
採卵鶏	11 件
ブロイラー	45 件



③ - 2 農場の所在地

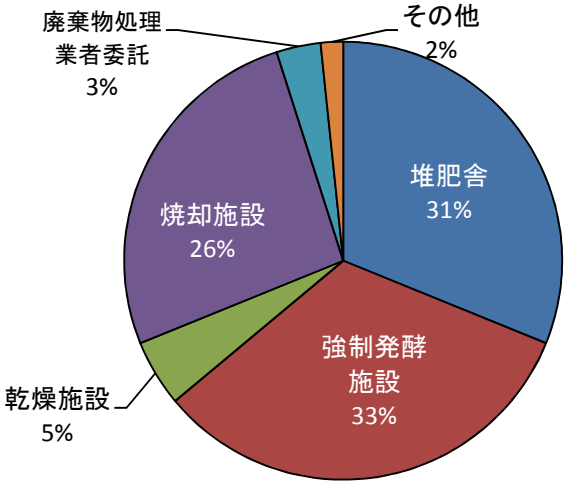
八戸市	12 件	階上町	7 件
南部町	11 件	五戸町	12 件
三戸町	10 件	田子町	16 件
おいらせ町	5 件	東北町	1 件
十和田市	2 件		



質問２．家畜排せつ物の管理及び処理について

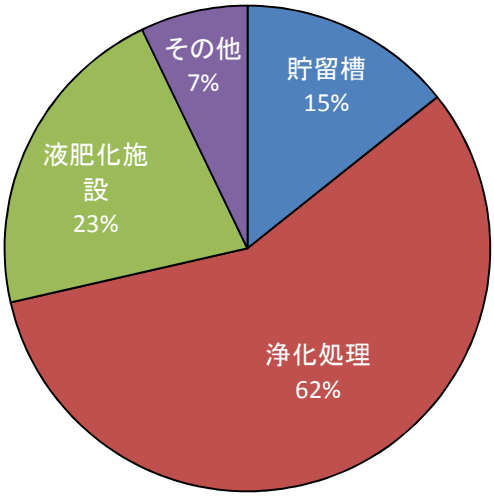
①ふん（固形物）の処理量及び処理方法について（豚、採卵鶏、ブロイラー）

堆肥舎	19 件
強制発酵施設	20 件
乾燥施設	3 件
焼却施設	16 件
廃棄物処理業者委託	2 件
その他	1 件



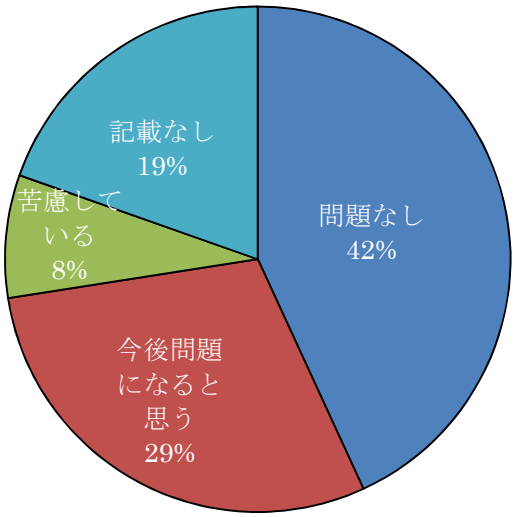
②尿（液状）の処理量及び処理方法について（豚）

貯留槽　　2 件
浄化処理　　8 件
液肥化施設　3 件
その他　　1 件



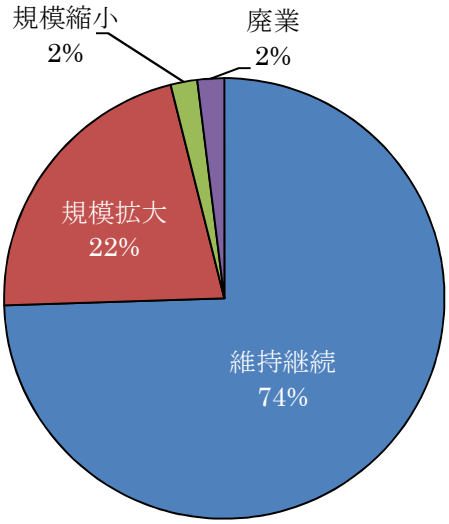
③堆肥の処理状況について

ア．全処理できており,問題はない　　22 件
イ．現在は全処理ができているが,今後余剰堆肥の処理が問題になると思われる　15 件
ウ．堆肥の流通が進まず、処理に苦慮している　4 件
エ．その他　0 件
記載なし　10 件



質問３．10 年後（平成 36 年度）を見すえた今後の経営の見通しについて

ア.現状の事業規模を維持し,事業を継続する　38 件
イ．事業規模を拡大し、事業を継続する
A.自己の所有する土地で規模拡大が可能である　5 件
B.他に土地が確保できれば規模を拡大したい　5 件
ウ．事業規模を縮小して、事業を継続する　1 件
エ．廃業する　1 件



質問４．飼料米の活用の意向について

①トウモロコシなどの代替としての飼料米の活用について

ア．　興味があり,積極的に活用したい　2 件

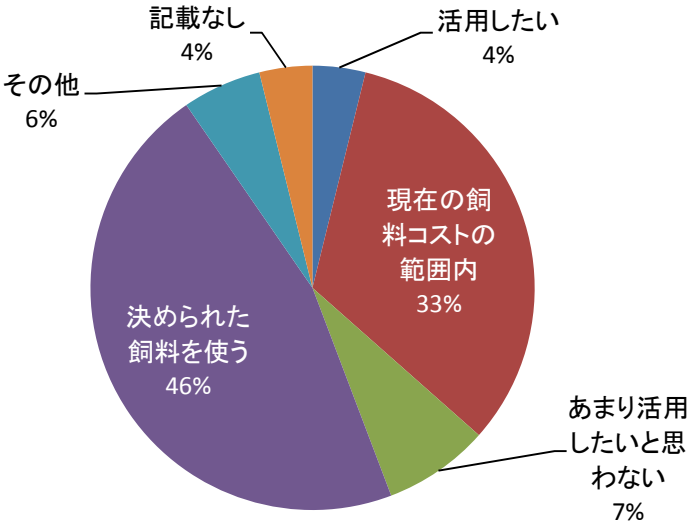
イ．　興味はあるが,現在の飼料コストの範囲内で活用したい　17 件

ウ．　あまり活用したいと思わない　4 件

エ．　決められた飼料を使わなければならないため,答えられない　24 件

オ．　その他　3 件

記載なし　2 件



②　①のように考える理由

（アに関するもの）

- 飼料米を作付けし、給与している
- 飼料米を使用することで価格低減することは歓迎だが、それにより栄養分の低減が懸念される

（イに関すること）

- 畜産全体で 2,300 万 t の飼料の使用ですので 200 万 t は十分に消費出来ることを考えると水田政策が問題だと思う。
- 現在の飼料の値段（コスト）が今後世界的に安くなる方向ではないので国産の原料を一部使用したい.(現使用料の約 10%程度)
- コストに合えば使用する
- 飼料用米にだけ、こだわらず、多方面から考えて対応していきたい
- 資源として地元にありながら輸送費や燃料をかけて海外から輸入に頼っている現状に問題があると考える
- 直接は使用できる体制はないが、飼料メーカーが使用できる体制が整えば、飼料米を配合した配合飼料は使用する
- 国内稲作農家の助けに少しでもなれば、と

（ウに関するもの）

- 飼料米は管理が面倒
- 煮る釜が無い
- 消費者のニーズに合った商品をつくる

（エに関すること）

- 配合飼料を使用しているため、成分のバランスが個人ではできない。飼料工場だと活用出来ると思う。現に古米や輸入米等は使用しているが成分的に劣ることはない
- 「決められた飼料を使わなければならない」場合がある
- 売先の条件に合わせた肉質を求められる場合もある

（オに関するもの）

- 飼料会社にお任せしている。輸入米を使用している。栄養、コスト面、条件が合えば飼料会社で使用すると思う
- 現在使用している。外国産飼料の供給不安があるため（異常気象等による供給減・価格上昇 etc.）
- 肉質が悪くなるので使わない

質問５．その他（自由記述）

- 農作業員（社員）の確保が難しいため、市町村でも、積極的に就職斡旋をお願いしたい。
- ①農業施設は農地である。農林省令に準ずることが大事
  ②事業者の経営計画を立案できるシステムが大事
  ③個人・法人の事業に補助金は出すべきでない
- 畜産には排泄物はつきものです。排泄物の処理なくして、畜産業は成り立ちません。しかし、近年の農家の減少、老齢化に伴い、堆肥を使う人はほとんどありません（使いたいけど労力的に使えないということです）。焼却にしても規制ばかり厳しくなり畜産農家は四苦八苦の状態です.このままでは畜産農家の将来はないと思います。せっかく地元に飼料コンビナートが出来、利用できる土地もあるというのに残念です
- 八戸圏域市町村でもっと畜産に対して理解と協力をお願いしたい（補助金不要）
- 栄養、コスト面、条件が合えば飼料会社で使用すると思う
- 最近、鶏糞排出量が多くなり現在有する設備では処理しきれない状態。新たに焼却炉の設置を急いでいる所ですが、様々な規制が障害になり、手続き等がスムーズに行かない状況。他県に比較してきびし過ぎるように思う
  もっと畜産業に対する理解をして頂くとともに柔軟に対応して頂きたい
- 八戸地域の基幹産業の１つとなると思うのでどんどん推進してもらいたい。また、推進するにあたり、行政サイドからもご助力をお願いしたい
- 鶏糞の処理コストがかかるので堆肥の流通に補助があればいいと思う（ダンプ、その他）焼却灰を水田に使用して欲しい
- 今後の飼料米の活用は、県全体の米作維持及び畜産の飼料価格安定からみても大きな課題である。幸い、八戸には飼料コンビナートがあるものの、飼料米の使用となると問題は流通・保管体制である。産・官一体となってその確立に取り組んでもらいたい
- 家畜排泄物処理は、畜産発展の大きな障害要因である
  ・有機肥料としての活用普及拡大を行政にも担ってもらいたい
  ・域内にバイオマス発電公社を設立し、排泄物を燃料として活用する
- 近くの農家への堆肥、使用の推進
- 現状では,個人あるいは小規模での処理が大半であると思う。もっと地域全体でのしっかりと体制のとれた大規模な処理施設で管理体制・地元農家との連携をとっていったほうが良いのではないかと思う